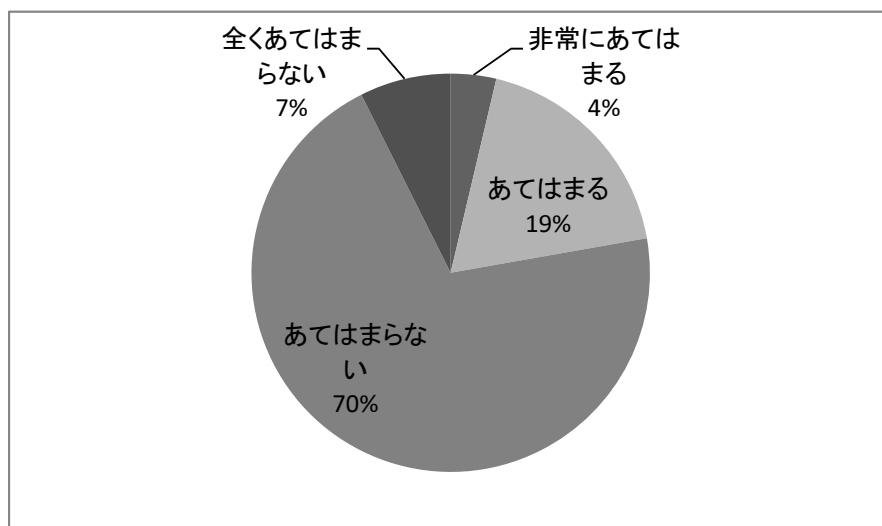


〈別科〉

Q70 シラバスに改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	1	3.7
あてはまる	5	18.5
あてはまらない	19	70.4
全くあてはまらない	2	7.4
計	27	100.0



【自由記載】

なし

評価・改善策

6名(22.2%)の学生があてはまるとしている。

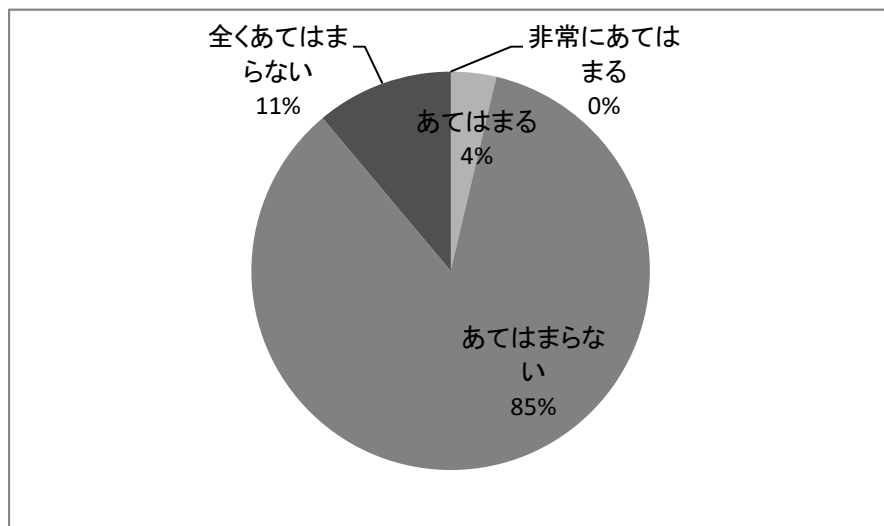
聞き取りによると、テキスト購入の際に確認した、1回目の授業の際に確認したがそれ以降は授業のレジュメを活用したとの回答があった。

平成23年度からは科目の評価方法など具体的に記述するようにしたが、さらに学生が活用するように内容や活用方法の説明について検討が必要である。

〈別科〉

Q71 履修登録の方法に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	0	0.0
あてはまる	1	3.7
あてはまらない	23	85.2
全くあてはまらない	3	11.1
計	27	100.0



【自由記載】

なし

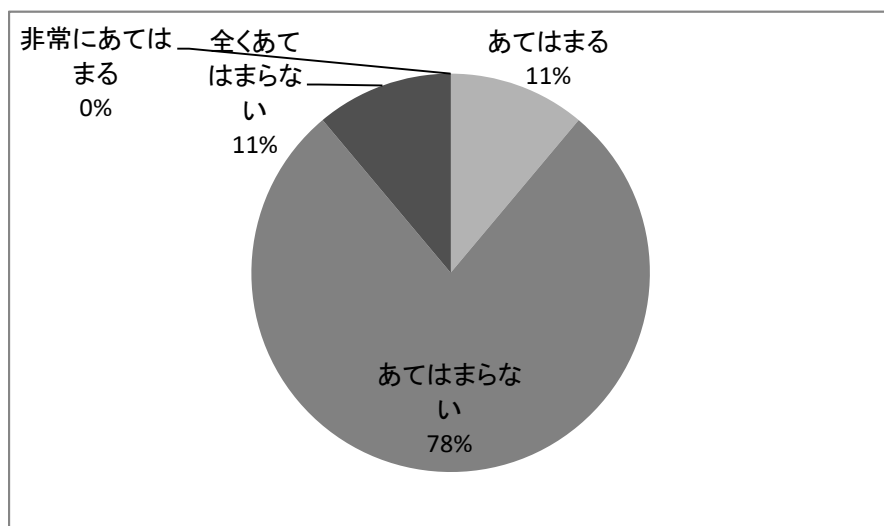
評価・改善策

26名(96.3%)の学生があてはまらないとしている。
ほとんどの学生が改善は必要でないと回答しており、改善の必要性はないと思われる。

〈別科〉

Q72 履修指導方法に改善は必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	0	0.0
あてはまる	3	11.1
あてはまらない	21	77.8
全くあてはまらない	3	11.1
計	27	100.0



【自由記載】

なし

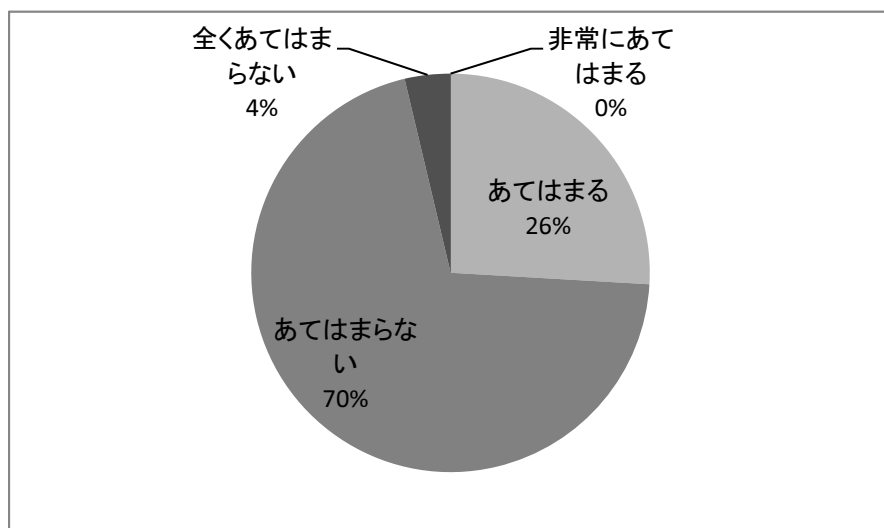
評価・改善策

24名(88.9%)の学生があてはまらないとしている。
ほとんどの学生が改善は必要でないと回答しており、改善の必要性はないと思われる。

〈別科〉

Q73 時間割に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	0	0.0
あてはまる	7	25.9
あてはまらない	19	70.4
全くあてはまらない	1	3.7
計	27	100.0



【自由記載】

4～5月は空き時間が割と多かったので、空き時間に基礎等の復習があったらいいかも

評価・改善策

7名(25.9%)の学生があてはまるとしている。

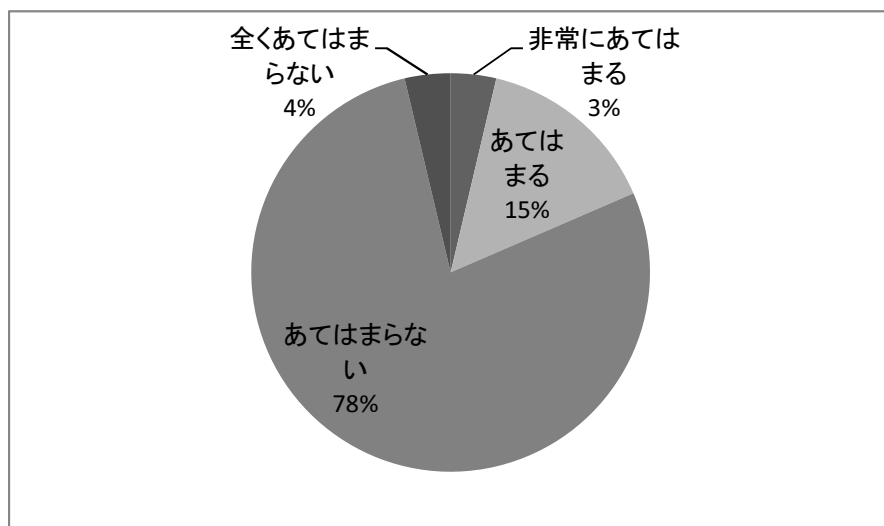
聞き取りによると、4-5月と6-7月の講義時間のバランスが悪い、テスト前の講義は少なくしてほしいとの回答があった。

平成22年度からは、4月の時間割の空き時間を利用して課題学習を実施している。

〈別科〉

Q 74 時間割の履行に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	1	3.7
あてはまる	4	14.8
あてはまらない	21	77.8
全くあてはまらない	1	3.7
計	27	100.0



【自由記載】

なし

評価・改善策

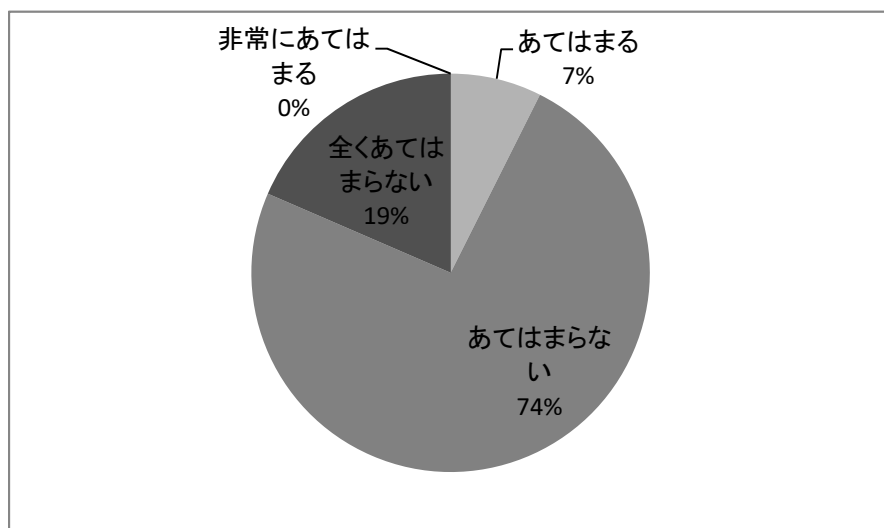
5名(18.5%)の学生があてはまるとしている。

非常勤講師の時間割変更はやむを得ず、時間割変更がありうることはオリエンテーション時に周知する。今後も変更が生じた際には速やかに連絡する。

〈別科〉

Q76 期末試験の方法に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	0	0.0
あてはまる	2	7.4
あてはまらない	20	74.1
全くあてはまらない	5	18.5
計	27	100.0



【自由記載】

なし

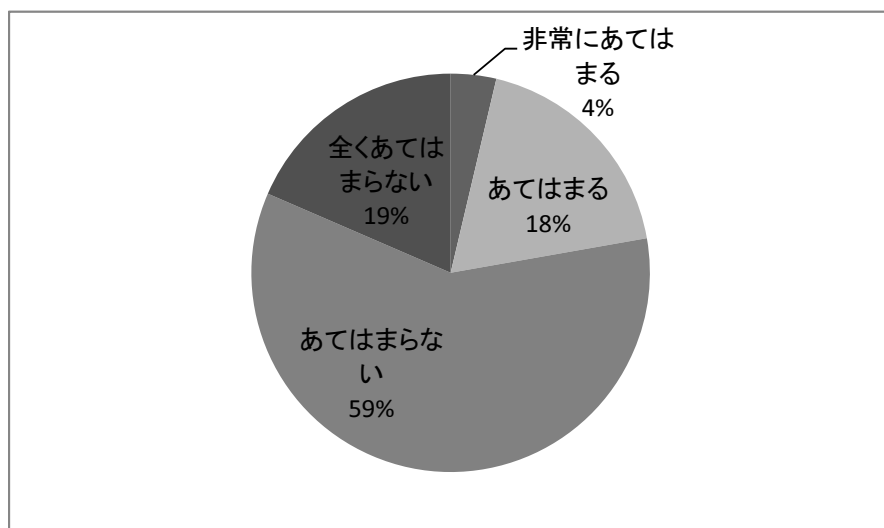
評価・改善策

25名(92.6%)の学生があてはまらないとしている。
ほとんどの学生が改善は必要でないと回答しており、今後も現行通り実施する。

〈別科〉

Q77 授業評価の方法に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	1	3.7
あてはまる	5	18.5
あてはまらない	16	59.3
全くあてはまらない	5	18.5
計	27	100.0



【自由記載】

なし

評価・改善策

6名(22.2%)の学生があてはまるとしている。

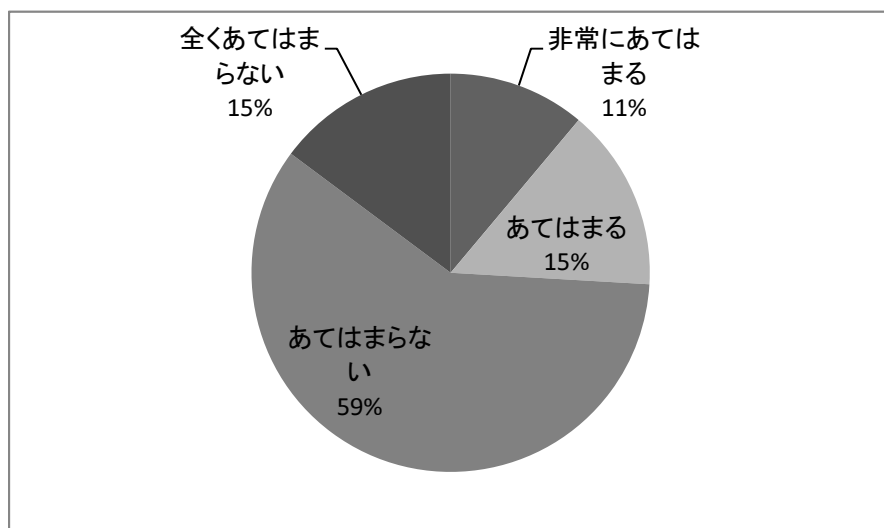
聞き取りによると、評価の時間が不十分、時間があれば自由記載にも回答できる、質問項目の意図がわからない、評価項目が多すぎる等の意見があった。

大学全体で評価項目の内容、評価にかかる時間の確保等検討が必要である。

〈別科〉

Q78 実習場所に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	3	11.1
あてはまる	4	14.8
あてはまらない	16	59.3
全くあてはまらない	4	14.8
計	27	100.0



【自由記載】

家から近い場所にしてほしい。

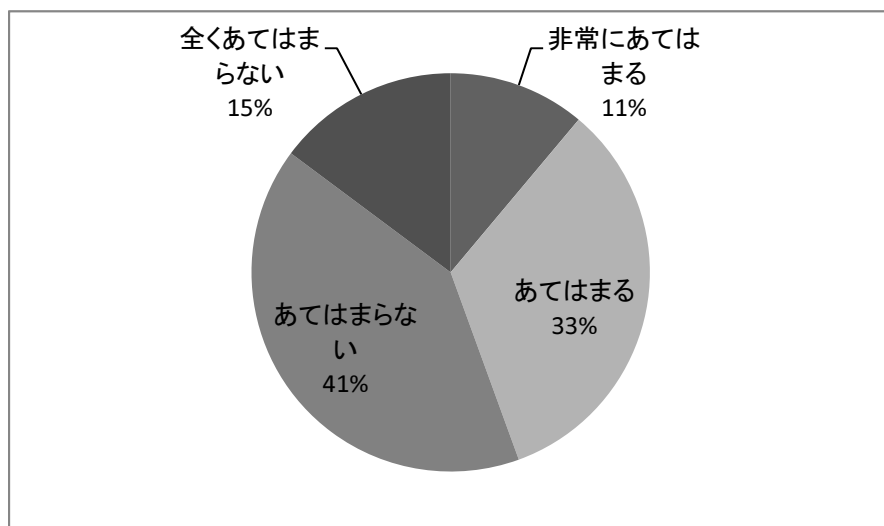
評価・改善策

7名(25.9%)の学生があてはまるとしている。
評価・改善策についてはQ59と同様。

〈別科〉

Q79 実習配置方法に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	3	11.1
あてはまる	9	33.3
あてはまらない	11	40.7
全くあてはまらない	4	14.8
計	27	100.0



【自由記載】

家から近い場所にしてほしい。

実習施設の分俵件数に対して学生の配置人数が多く、実習延期があった。

評価・改善策

12名(44.4%)の学生があてはまるとしている。

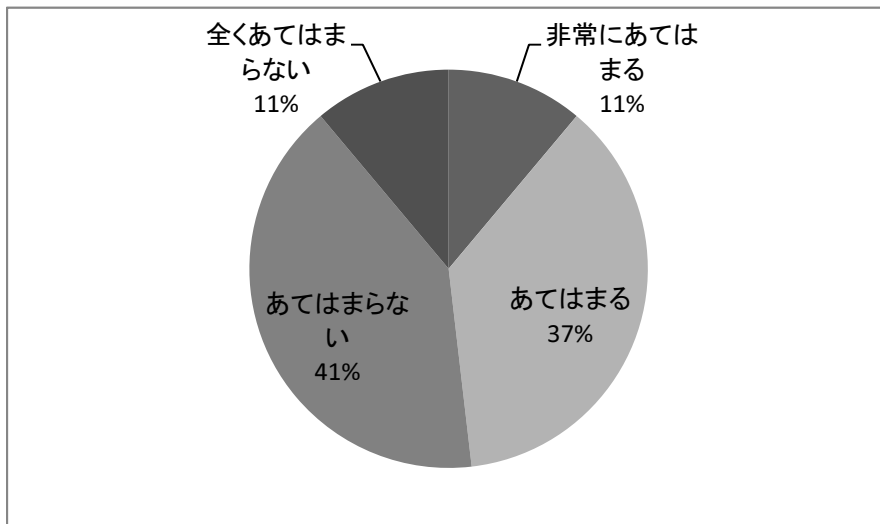
実習施設と学生の居住地からの距離については、Q59と同様。

平成20年度および平成21年度の入学生に関しては実習の延長等があり、改善策として平成22年度からは実習施設の学生配置人数を調整した。

〈別科〉

Q80 国家試験対策に改善が必要であった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	3	11.1
あてはまる	10	37.0
あてはまらない	11	40.7
全くあてはまらない	3	11.1
計	27	100.0



【自由記載】

早い時期から行うべきである。

評価・改善策

13名(48.1%)の学生があてはまるとしている。

聞き取りによると、4-5月の早い時期からやっほうがよい、4-5月の空き時間を利用してほしい、ディスカッション方式での対策はよかった等の意見があった。

平成22年度入学生からは、入学時に課題学習や国家試験直前には必要な学生に対してディスカッション形式の学習を実施しており、修了生からの評価もよいため継続していく。